

# みやぎ防災フォーラム2020 in 大崎

正しく防災情報を理解し、正しく行動するには。

自助  
共助  
公助

日時

令和2年 **12月5日(土)**  
午後1時～午後3時30分(受付開始12:30)

場所

**パレットおおさき**

大崎市古川穂波三丁目4-20

- ・ JR古川駅からバスプール8番のりば 循環便で約15分
- ・ 自動車で東北道古川ICから約8分/約190台無料駐車場あり。  
お帰りの際、駐車場から国道4号線に出る際に渋滞が予想されますのでご了承ください。



申込

宮城県総務部危機対策課へ、下記4点をお知らせください。  
・ 代表者の氏名 ・ お住まいの市区町村 ・ 参加人数 ・ 連絡先  
申込締切：12月2日(水) 定員：150名(先着順) 電話、FAX、メールいずれも可。

入場  
無料

問合せ

宮城県総務部危機対策課  
電話：022-211-2464  
FAX：022-211-2398  
E-mail：kikit@pref.miyagi.lg.jp  
※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては中止となる場合があります。

大崎市総務部防災安全課  
電話：0229-23-5144  
FAX：0229-24-2249

県ホームページは  
こちら▼



基調講演 13:10～



「大雨災害に備える ～身を守るための防災気象情報～」

仙台管区気象台 気象防災部  
越後 覚 気象防災情報調整官

1962年 秋田県大仙市生まれ  
1981年 秋田地方気象台採用

秋田地方気象台、仙台管区気象台、山形地方気象台、青森地方気象台などで勤務し、防災気象官、火山調査官、山形地方気象台防災管理官、青森地方気象台次長を歴任。令和2年4月から気象防災情報調整官として、防災気象情報の利用促進、関係機関との連携・調整業務に携わる。

パネルディスカッション 14:20～

コーディネーター



「風水害からいのちを守るために地域でできること」

東北大学災害科学国際研究所 柴山 明寛 准教授

静岡県出身、2006年工学院大学院建築学専攻博士課程修了。2012年から東北大学災害科学国際研究所災害アーカイブ研究分野准教授。専門は、地域防災、災害情報、地震工学。東日本大震災以降、震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」に従事し、自主防災組織育成、震災の復旧復興支援、災害記録・記憶の伝承、防災観光に繋げる研究を行っている。

パネリスト

NPO法人防災士会みやぎ  
鈴木 博行 理事  
丸森町館矢間南木沼行政区  
武田 正成 区長  
大郷町消防団  
熊谷 宏弥 部長

展示ブース

日常備蓄についての展示など(イオンリテール(株)東北事業本部、みやぎ生協)